

「エコシティたかつ」推進方針（2009年3月策定）

＜「エコシティたかつ」推進方針とは・・・＞

地球環境危機の時代において、高津区内で顕在化している自然環境・社会環境・生活環境に関する諸課題に対し、地域の多様な主体が協力して、総合的かつ多面的に取り組むための計画要素を含んだ基本的な方針

基本理念

地球環境危機の時代に対応した、自然の賑わいとともにある、持続可能な循環型都市構造の再生と創造

エコシティたかつ

緩和策・適応策・生物多様性保全の方策を、「流域」という枠組みで総合していく「エコシティたかつ」の長期環境戦略

流域志向

温暖化緩和策

生物多様性保全への貢献

温暖化適応策



＜基本目標＞

緩和策

①低炭素・省資源社会の実現

私たち一人ひとりが身近なアクションをおこし、二酸化炭素の削減につなげ、資源を有効に活用する。

生物多様性

②自然共生型都市再生の推進

丘陵などランドスケープを重視した、生命（いのち）の賑わい豊かな自然共生型の都市再生を地域から推進する。

適応策

③地域に即した防災まちづくりの推進

深刻化する局地的な豪雨や洪水、渇水に対し、流域の水循環に即した「水災害適応型都市」づくりを推進する。



＜基本的な考え方（行動計画に取り組む視点）＞

- ①環境的・社会的・経済的持続可能性の実現
- ②地域の流域特性に根ざした事業推進
- ③行政・市民・企業・学校の協働による推進と担い手の育成
- ④区の全事務事業の環境視点からの見直しと総合的展開
- ⑤資源の有効活用とリーディングプロジェクトによる効果的な事業推進



＜長期的なプロジェクトの案＞

- ①自然環境・地域環境に配慮した新たなエコ・コミュニティの検討
流域思考による持続可能な地域づくりの視点から、環境・社会・経済のバランスの取れたコミュニティベースの新たな自治のあり方について検討する。
- ②生命地域の視点によるまちづくりの検討
環境政策と都市政策を連動させたまちづくりを、地域で統合的に推進していくための大地や水循環の体系に則したシステム構築に向けて検討する。
- ③小流域単位の総合治水の推進
小流域単位での重層的治水対策の推進に向けて検討する。



＜これからの検討課題＞

- ①自然共生型都市再生の推進に向けた区としての総合行政の展開
- ②都市の農的空間を活かしたまちづくりの推進
- ③環境負荷の小さい地域交通政策の検討
- ④環境活動・環境資源の保全に関する新たな資金支援制度の創出
- ⑤中長期的な視点からのまちのあり方に関する検討